

林業安全コラム

安全意識は命綱 しっかり締めて
目指そうゼロ災

○ 高性能林業機械の保有状況

平成24年度末の保有台数は、運材用のフォワーダ、枝払い・玉切り・集積作業を行うプロセッサ、伐倒・枝払い・玉切り・集積作業を行うハーベスタの順に、総台数5,678台、前年度に比べて589台の増加となっています。

機種	平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	保有台数	比率	保有台数	比率	保有台数	比率
フェラーバンチャ	85	1.8%	101	2.0%	113	2.0%
ハーベスタ	836	17.9%	924	18.2%	1,075	18.9%
プロセッサ	1,312	28.1%	1,369	26.9%	1,451	25.6%
スキッダ	141	3.0%	142	2.8%	148	2.6%
フォワーダ	1,213	26.0%	1,349	26.5%	1,513	26.6%
タワーヤーダ	148	3.2%	149	2.9%	143	2.5%
スイングヤーダ	708	15.2%	752	14.8%	810	14.3%
その他の高性能林業機械	228	4.9%	308	6.0%	425	7.5%
合計	4,671	100.0%	5,089	100.0%	5,678	100.0%

注) 林野庁業務資料。 国有林野事業で所有するものは除いている。

高性能林業機械の操作ミスは、大きな災害につながります。このため、高性能林業機械による安全で効率的な作業を行うためには、オペレーターをはじめ、作業に携わる者が十分に技術を習得する必要があります。

平成25年の労働安全衛生規則の改正により、車両系木材伐出機械の区分（伐木等機械、走行集材機械、架線集材機械）に応じた特別教育（安全教育）を行うことが事業者に義務づけられました（平成26年12月1日施行）。

なお、これらの規則は、業務上で使用する機械そのものに係ることとなり、使用する場所や業種を問わず対象となりますので、注意が必要です。

○ 林業労働災害の発生事例について **（類似災害防止のために！）**

【事例】

当日、被災者は同僚2人とスギ人工林の集材・造材・運材作業に従事。

13:00頃、被災者が造材木を集積土場へ運搬するため運搬車をとりに行き、戻ってこないため、同僚が確認に向かったところ、運搬路から約13m下方の林内に滑落した運搬車の下敷きになった被災者を発見。

病院に搬送されたが約2時間半後に死亡を確認。



【フォワーダ等走行集材機械が関係する事故が続いています。また、本年は既に14件（4月30日現在）の死亡災害の報告が該当県から寄せられており、災害多発の傾向が見られる大変憂慮すべき事態となっています。】

<お知らせ>

農林水産省では、地球温暖化防止及び節電の取組みが重要であることから、昨年度同様、5月1日からクールビズの開始となりました。

林業労働対策室
労働安全衛生班